

五條市西吉野・大塔観光マップ

歴史と味覚☆星のまち Ver.白銀北地区

発行：五條市立西吉野小学校 平成30年度6年生
この観光マップは「ふるさと学習」の活動として子どもたちが作成しました

柿の里 西吉野



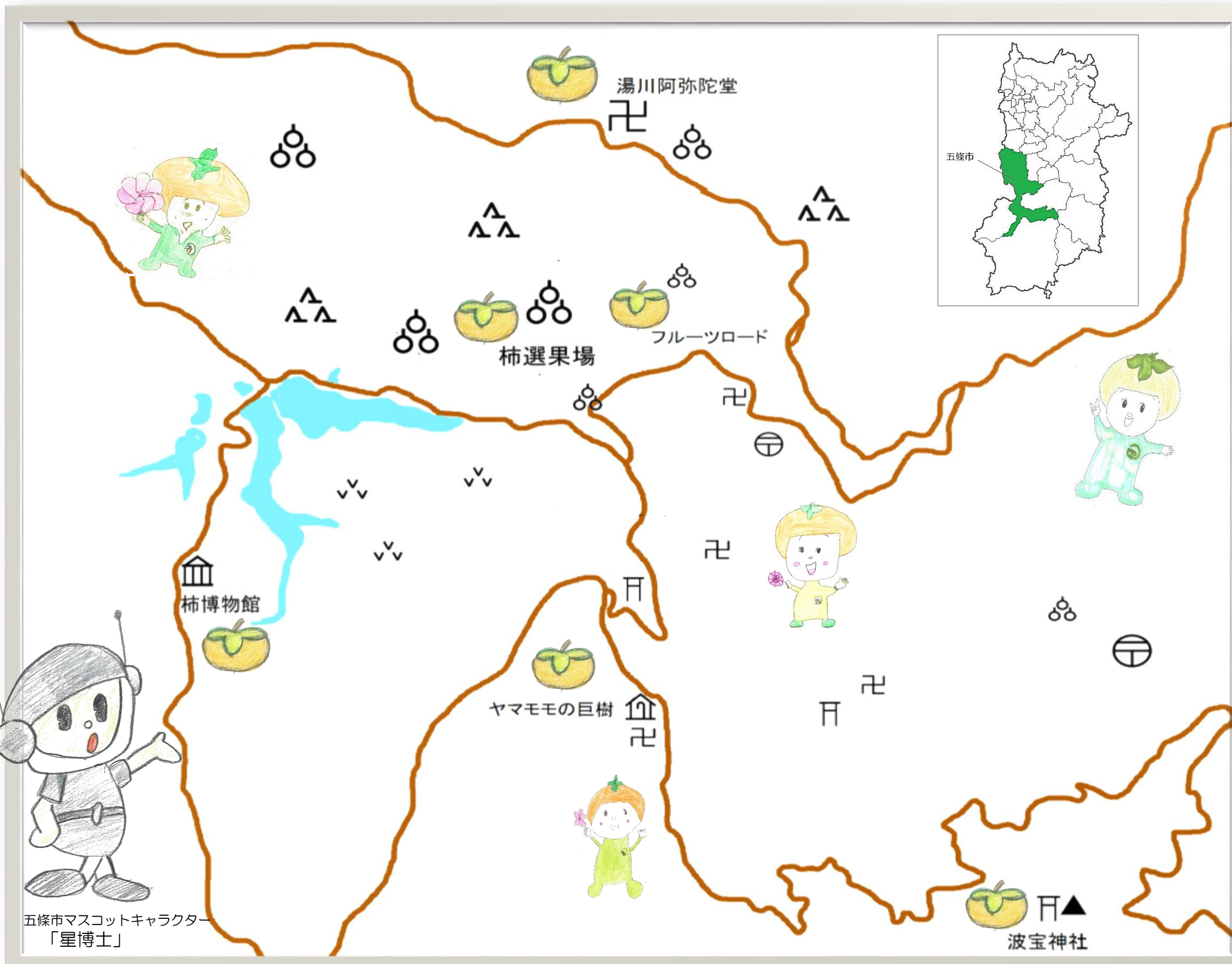
五條市マスコットキャラクター
「カッキー」

西吉野小学校の紹介

西吉野小学校は、奈良県西南部、吉野山岳地帯の北西部に位置している。平成23年の紀伊半島大水害により、平成24年度から大塔小学校の児童が西吉野小学校に通学するようになり、とても校区の広い学校となった。校区には、古い文化と歴史的な史跡が多数存在している。また、地場産業の柿・梅・梨等の果樹栽培に精励し、中でも柿・梅は、全国的な特産品として知られている。

広い校区をもつ西吉野小学校では、「総合的な学習の時間」に、『ふるさと再発見』をテーマに、地域に伝わる歴史や文化、地域の特産品を子どもたち自身が調べ、発信していく活動を行っている。

イラスト：6年生の子どもたちが描きました



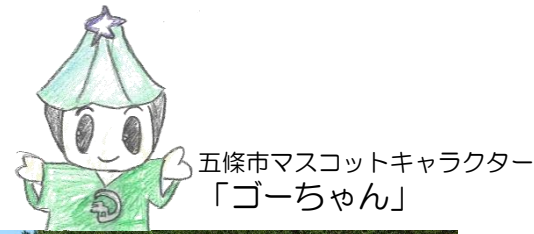
五條市マスコットキャラクター
「星博士」

さあ！でかけよう！

柿選果場



ほとんど毎日お客さんが来て柿を買っていきます。オレンジ色になってからとるより、少し青い色の時にとり、オレンジ色になるまで待ってから売るのがあまさの秘けつです。柿を買って行く人は、喜んで買っていきます。柿はふつうに売っている柿と大きさがまるで違います。柿選果場では150人ほどの人が働いています。「柿の里祭り」という祭りが11月23日に行われます。柿の種とばしなど楽しいことが満載です。とても大きい柿が売られています。ひとつひとつ安くおいしいです。

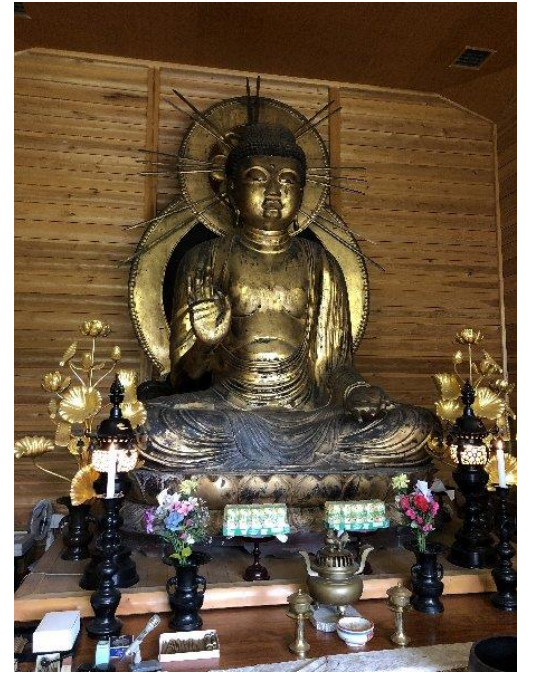


五條市マスコットキャラクター「ゴーちゃん」

湯川阿弥陀堂



湯川阿弥陀堂は、阿弥陀如来像がまつられています。この阿弥陀如来像は、1170年につくられました。そして、阿弥陀堂は、国重要文化財に登録されています。事前に連らくすれば、阿弥陀如来像を見ることができます。



フルーツロード



3月の梅の花
3月初旬～中旬にかけてフルーツロードを走れば、白、薄ピンクの梅がみられます。ぼくも近くを通ったことがあります。毎年たくさんの梅の花がさいてきれいです。梅の花は西吉野の賀名生梅林が有名ですが、ここも負けていません。賀名生梅林は山の斜面に梅が植えられていますが、こちらは比較的平らなところに植えられていて感じが違います。梅は見て楽しむものだけではなく匂いも楽しむことができます。



フルーツロードから見える景色

ヤマモモの巨樹



明治43年11月から数ヶ月間、植村宗一(のちの直木三十五)氏が代用教員として赴任していた旧奥谷尋常小学校の校庭にたっています。奈良県指定天然記念物(2月5日指定)ヤマモモは、赤色で表面に凹凸があって、たくさんなっていました。わたしたちも試食させていただきました。甘酸っぱく、酸味が少し強かったです。巨樹の前には直木三十五の石碑があります。現地説明板では、幹周(地上0.5m)／4.3m、(分岐部)／5m、樹高／約15mだそうです。雌株で、地上80cmで三分岐、さらに分岐し、合計9枝に分岐しており、樹形は半球形をしています。



波宝神社



銀峯山のある西吉野
波宝神社は千年も前からあります。毎年9月の第2日曜日には岳祭りがあります。大鳥居「おおとりい」は昭和36年(1961)に建てられました。鉄筋コンクリート造の鳥居です。遠くはなれた五條の町中でも、見ることができます。手前の拝殿のかべには、今から160年前の神話の絵がかざられています。



柿博物館



高さ8.7メートル、直径18.2メートル 柿のことなら何でも知れる、「柿博物館」です。平成6年(1994年)4月に、オープンしました。柿博物館の中には、たくさんの種類の柿が置いてあり、プロジェクターなどで柿栽培にまつわる映像を見ることができます。時期によっては甘柿と渋柿の試食ができたり、柿についてよく知れる楽しい施設です。柿博物館は約200種類もの柿を栽培しており、しかも、季節によってはすべて実物が展示されており、干し柿も展示されています。

